

定時制の灯を守ろう！

NO. 88

2006.7.2

守る会連絡会便り

都立定時制高校を守る会・連絡会

URL: <http://homepage3.nifty.com/save-teiji/>

連絡会事務局発行

06年度都立定時制高校を守る会 連絡会総会のご案内

07年は新配置計画に基づく夜間定時制募集停止の最後の年であり、3学区や八王子など大規模な募集停止が予定されています。生徒の通学範囲から鉄道の沿線別に見ても沿線の近くに夜間定時制が全くなるとか1校だけといった状況がむしろ普通になると言っても過言ではありません。みんなの英知を出し合って今年度の運動を共に創り上げて行きましょう。ぜひ、お誘い合わせの上総会にご参加下さい。

日時 06年7月15日(土) 18:30~21:00

場所 日本教育会館7階

都高教会議室

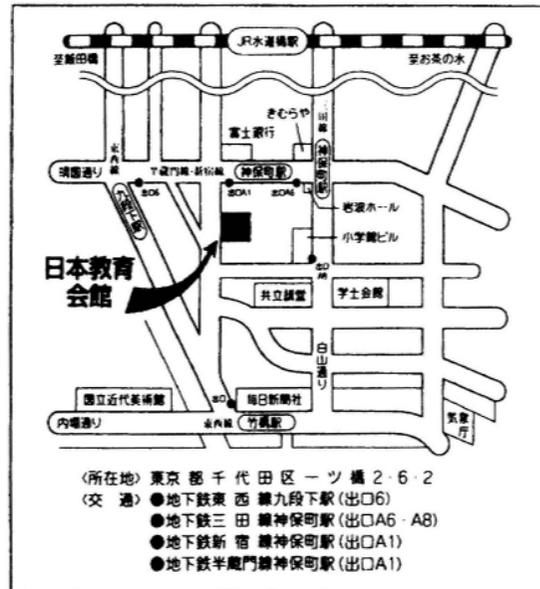
ミニ講演 中学校の進路指導の現場から(折衝中)
定時制をめぐる状況はどうなっているのか?

多賀哲弥(前大崎定)

議題 05年度活動報告

06年度活動計画

06年度役員選出



定時制をめぐる状況はどうなっているのか？

統廃合

1997年度から3回に分けて「実施計画」が出され、進められてきた「都立高校改革推進計画」44校1分教場が募集停止となっています。いよいよ来年度が最終段階、「最後の山場」です。

旧3学区の10校の定時制のうち何と8校が募集停止になり、「中野地区チャレンジ」と「杉並地区昼夜間」がスタートします

八王子の4つの定時制が募集停止、「八王子地区昼夜間」が立ち上がります。

久留米定が募停となり、「久留米地区総合高校・定時制」がスタート。

いったいどういう状況になるのか、特に と は規模が大きいので予測できません。

入試状況

2004年94人、05年89人、06年51人……

これは定時制の二次募集の不合格者数です。「チャレンジ」や「昼夜間」は一次でいっぱい、夜間定時制の二次でこんなに大量の不合格者が出るのは異常事態です。これではセーフティネットの役割は果たせません。大量の募集停止校の出現がその根本原因です。都教委のように「全都的には枠内である」などと言ってはられません。その地域の子どもはどうなるのかという問題です。さて、来年度入試はどうなるのか……

不合格の生徒たちはどこへ

定時制の二次で不合格になった生徒はどうなったのか。それだけでなく、そもそも全日制や昼間定時制を不合格になった生徒は夜間定時制に受けに来ているのか。さらに高校中退者はどこに行っているのか、等々私立通信制や「サポート校」と言われるところが、急速に生徒数を増やしています。生徒や保護者の評判も上がっているようです。

果たしてこういう学校が最後のセーフティネットになっているのか、そういうことも視野に入れた検討が求められます。

移転させられた生徒たちは

小石川高校定時制の3~4年生、両国高校定時制の2~4年生は、全日制が中高一貫

校に改編されたため、新しい学校に移転させられました。小石川の生徒は浅草橋にある一橋高校へ、両国の生徒は浅草の浅草高校です。昼夜間の1年生、従来の夜間定時制の2～4年生と一緒にいます。今後、武蔵も移転が予定されています。さまざまな問題があるようです。生徒には何の責任もないのに、30分以上も遠い学校に通わなければならなくなる……。こんな教育条件の悪化を放置するわけにはいきません。

定時制の課題は山積。「定時制の灯」を守るため、ともにがんばりましょう。

(多賀哲弥 前大崎定)

06年度都立定時制入試から

都立夜間定時制1学年の募集定員は、一昨年4,140名から昨年3,390名へと750名も減少し、今年は、3,120名で270名減でした。今年の募集定員減は、台東地区昼夜間定時制(浅草高校)の開校に伴う6校の募集停止(台東商業定・上野定・両国定・墨田川定・小松川定・小岩定)によるものが主なものでした。二次募集で04年度14校94名、05年度11校89名の不合格者が出たのに比べ、今年は、8校で40名余りと半減しました。

それでも、募集停止校が集中した総武線沿線地域では、残った普通科2校が、1次でほぼ定員に近い応募があり、2次で定員を超えて不合格者が出ました。墨田・江東・江戸川・葛飾地域の10校11学科の普通科4校についていえば定員240名に対し224名のはほぼ定員に近い在籍でした。特徴的には、この間2次での不合格者が出ている対応として、中学側の進路指導で定時制1次での応募者が増えたことと、南葛定の1学級増で地元の生徒の受け入れが増えたことで、大幅な不合格者には至らなかったともいえそうです。

募停と同時に移転させられたある定時制では

- - - 3校4課程が1つの校舎に共存

今年、全日制が中高一貫校としてスタートするにあたって、併置されていたある定時制は募集停止となり、残った在校生と教職員が丸ごと移転させられました。以下のような問題点

が、現場から寄せられています。

<生徒の通学の問題>

*ほとんどの生徒の通学時間が長くなった。アルバイトや登校するのが億劫になって、遅刻・欠席者が昨年に比べて多い。

*2児を持つ生徒がこちらまで通えないと、4月から近い定時制へ転校。

<授業・教室使用の問題>

*突発的に使えるはずの教室が、他校の授業でふさがっていた。

*一つのフロアは、専用に使えるとされていたが、日中は他校の授業で使われている。そのため5時より早く来た生徒は、自分のクラスには入れないということがある。

*特別時間割で早く授業が終わったときでも、他校との関係で音の出る部活やグラウンドを使用する部活が前倒しで行うことが出来ない。

*旧式のエレベーターで、構内を移動するにも待ち時間が長く、授業に遅刻する生徒が多い。

*3修制を目指す生徒が、他校の授業を受講に行くと扱いが「冷たい」という印象を受け、現在はあきらめてしまった。

<他校生徒とのトラブル>

*他校生にからかわれたり、エレベーター内でニアミスのトラブルなど、苦情が寄せられている。

*他校生徒の問題行動のための図書室が閉鎖されることがあり、本校生徒が使えなくなる。

<施設・設備・物品購入での問題>

*授業等で必要な物品がすぐに手に入らない。4月当初に購入申請した物品が6月下旬になって少しずつ入ってきた。まだ来ないものも多い。

*講師の先生方は、週1～2回の出勤なので他校との先生とのコンタクトが取りづらく、特別教室等の使い勝手がわからないまま授業せざるを得ない。

*どの階も男子トイレが少ない。短い休み時間にわざわざエレベーターを使って他の階まで行っている。

*保健室が1階にあるため、遠いので突発的な事態に備え、養護教諭は職員室にずっと待機している。職員室内にカーテンで間仕切りをして、ソファを置いているが、とても生徒が休養できるものではない。

*3校4課程で、職員室が3フロアに5カ所あり、これに対して用務主事の増員は無し。全ての職員室を点検することは困難。今年から、職員室から出るゴミは基本的に教員がゴミ置き場に運ぶ。水漏れや電球切れにも即座に対応できない。

(文責：05年度事務局)